

世代間交流フェスタ

三陸めぐり逢いラジオ in 大船渡

12/2は、大船渡市B&G海洋センター体育館から生中継。照井健、松原友希両アナウンサーがおじゃましました。



被災地読み聞かせボランティア IBCともの朗読会

IBCアナウンサーが参加する、ボランティアの読み聞かせ会が12/2に宮古市千徳公民館で行われました。参加したのは大塚富夫アナ、神山浩樹アナ、甲斐谷望アナの3人です。今回は、「岩手県立児童館いわて子どもの森」の地域共済型移動児童館事業（通称「あそびにコンビニ」）の一環で行われ、絵本や童話の



読み聞かせのほかに、ボランティアグループが数団体（遠くは北海道の団体も！）集まり、太鼓や笛でリズム音楽を体感したり、積み木やボール当てゲームなどを楽しんだりできるブースが展開され、来場した子供たちとともに楽しい時間を過ごしました。



釜石シーウェイブス

逆転勝利で最終戦飾る

社会人ラグビーの釜石シーウェイブスは12/1、神奈川県で東京ガスを接戦の末下し、今季最終戦を勝利で飾りました。釜石は前半、風下の釜石は細かいパスを素早く回し二つのトライを奪って序盤をリード。しかしその後東京ガスも二つのトライを決め釜石は1点リードの僅差で試合を折り返します。後半、釜石はわずかなリードを守り続けますが、終盤に東京ガスが立て続けに3トライ。釜石、ついに逆転を許し東京ガスの6点リードで試合はロスタイムへ。しかし、最後は江幡の突撃を周りの選手がバックアップし値千金のトライ。キック成功とともに試合が終了。32対31。選手とサポーターが一つになったシーウェイブスらしい大逆転劇でシーズンを締めくくりました。成績は6勝3敗、去年よりも一つ上のリーグ3位です。



陸前高田発

さんりく元気ラジオ

（毎週水曜日・ワイドステーション・午後3時半～）

12/5は陸前高田災害FMの阿部裕美さんが、陸前高田名物とも言える「椿油」の製造開始について伝えてくれました。椿油の精油は、市内にある「石川製油所」で主に製造されていました。しかし津波で施設が壊滅し操業中止になっていたところ、地域の復興と障害者所得に繋げようと、就労継続支援B型事業所「青松館せせらぎ」が施設を設け、石川製油所の指導を受けて製造が開始されたものです。関係者は地域の特産品の製造開始を喜ぶと共に、復興のシンボルにしたいと、期待を高めているとの事です。



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122